

妙高保護司会報 第41号

令和5年9月1日発行



「妙高山大正池近くの白山小桜」保護司 坂田 斉 撮影



妙高市保護司会会長挨拶

小野 興 正

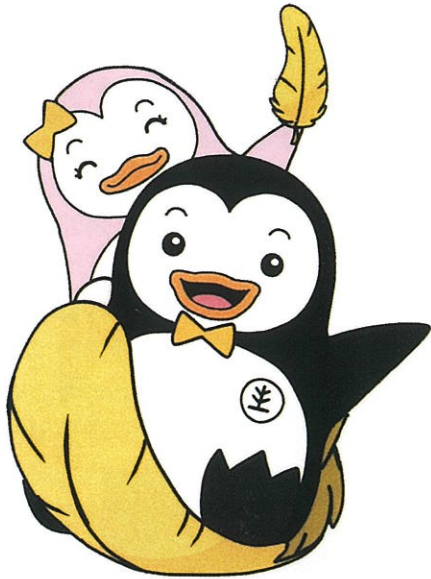
令和5年4月から妙高市保護司会会長を仰せつかりました。浅学非才にしてその力は充分ではありませんが、保護司会員、保護司会事務局の皆様をはじめ市民の皆様からご理解、ご協力を賜りながらなんとか無事務めを果たしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

更生保護は、犯罪をした人や非行のある少年を社会の中で適切に処遇することにより、その再犯を防ぎ、非行をなくし、これらの人たちが自立し改善更生することを助けることで、社会を保護し、個人と公共の福祉を増進しようとする活動で、国の機関だけではなく、保護司、更生保護女性会など多くの民間の方の協力を得て推進しています。

更生保護の主な内容には、保護観察の実施や犯罪予防活動があります。保護観察は、犯罪をした人、または非行のある少年が、社会の中で健全な一員として更生するように、指導監督及び補導援護を行うものです。犯罪予防活動の特色は、犯罪の発生を未然に防ぐため、地域社会に対しての社会的連帯感や社会的規範に対する共感を強めるように働きかけ、安全で安心な地域社会の構築を目指す点にあります。「社会を明るくする運動」もこうした犯罪予防活動の一つです。妙高市でも強調月間である7月6日にキャンペーンを実施させていただきました。

犯罪や非行の防止と立ち直り支援は、地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら地域全体で取り組む「地域のチカラ」が大切です。よろしくお願いいたします。

**犯罪や非行を防止し
立ち直りを支える地域の力**



7/6 (木) 保護司会と市内15団体の皆様による
キャンペーン活動が行われました。

第73回 社会を明るくする運動

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と
犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立
場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くた
めの全国的な運動です。



六・十市にて

※ショッピングセンター等で
パンフレットの配布



街宣車で巡回

※各事業所へポスター掲示な
どのお願ひ
※市内小中学生から作文募集



内閣総理大臣メッセージ伝達

愛の協力運動

～ご協力ありがとうございました～

R4年度、妙高市では7,779名の方から786,316円の会費を
お寄せいただきました。県全体として更生保護の事業に有効
活用させていただきました。



保護司研修会

5月9日

- ・ 講師 新潟保護観察所上越駐在官事務所
保護観察官 小川美菜子様
- ・ テーマ「刑法等の一部改正について」



あなたの身近でも
大麻の違法栽培が!?

☑ 一日中、雨戸や遮光カーテンで窓がふさがれているが、照明は点いている!
こんな場所に要注意!!

☑ エアコン室外機や換気扇が常に動いている!

もしかしてあの家で!?

☑ 土や肥料を運び入れたり、茎や根などをゴミに出しているが、外で植物を育てている様子がない!

☑ 近くを通ると青臭いにおいがする!

大麻の違法栽培の可能性がある場所を見かけたら、まず相談。
相談された方の秘密は厳守されます。

警察相談専用電話 #9110 I'm CLEAN

または 最寄りの警察署・交番等 各都道府県警察本部の警察相談電話 各地方厚生局麻薬取締部

警察庁 厚生労働省

6月28日 新潟県薬物乱用防止啓発活動
街頭キャンペーン参加 (担当 坂田保護司)

ささやかな活動から 明るい社会づくりを目指して

新井地区更生保護女性会 会長 八木 孝子



更生保護女性会
マスコット
「オコシヨさん」

犯罪の予防や明るい社会づくりを目標とした活動を展開している保護司会より、たくさんのご援助・ご支援をいただきながら、同じ目標を持つ私たち「更女の会」。

女性ならではの、優しさと明るさ、温かさをもって、それを活動の基本としたボランティア団体で、今年は会員140名、新潟県では約2,400名、全国では18万人。しかし、この数も、社会の変動や少子高齢化、コロナ禍が追い打ちをかけ、地域における人間関係の希薄化が進み、年々減少傾向にあります。

「無理しない、できる時に、自分にできることをする」を念頭に、月一回の更女の日に顔を合わせ、手づくり活動をしながら親睦を深め、ミニ集会では身体を動かす健康体操を教わったり、介護の研修を行ったりします。にしき園への清掃支援や、ゆめきゃんぱすにおける幼児と母親との昔遊びからの交流会で逆に元気をもらい、自分磨きにもなる県主催の研修会への参加によって他地域の会員と交流したり、もったいない運動からリユース品をよみがえらせるお手伝いをしたり・・・とほんのささやかな活動ではありますが、お互いにつながり合い支え合える明るい社会を目指して地道に進んで参ります。今後とも変わらずご理解とご支援をくださいますようお願いいたします。

退 任



退任のご挨拶

前会長 霜島 裕志

皆様におかれましては、日頃から保護司会の更生保護活動にご支援ご協力いただきありがとうございます。

本年3月をもちまして保護司を定年退職となりました。関係各位には大変お世話になりました。

ここ数年は、コロナ禍の影響で活動もいろいろと制約を受け創意工夫をしながらの活動でした。

皆様には、今後とも地域の安全・安心のため引き続き保護司会の活動に、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

真の明るい社会になりますように



前副会長 岩澤 惇子

15年で10名の対象者とのお付き合いの保護司活動も無事に終了。退任記念の懐中時計を時折覗き、日々の経過を確かめつつ生活しています。

自らの体験により、「被害者も、勿論、加害者もゼッタイにナシの地域社会にならなければいけない」と思うようになりました。今後は明るい社会をめざし、地域の一員として、健康に留意し、自分のできることをやっつけていこうと思います。

皆様にはいつも支えて頂き本当にありがとうございました。感謝申し上げます。

新 任



とても不安な気持ちで一杯です

笹井 幸弘

地域の先輩から保護司のお話をいただいた時、私にできるかなと思いつつもお引き受けいたしました。その後、知人からもフルタイムの仕事にお誘いを頂き、悩んだ末、お引き受けすることになり、結果として地域の役員と併せて、三足の草鞋を履く形となりました。日々の忙しさから保護司のことを考える余裕もなく、不安が増すばかりの毎日です。こんな私ですが保護司の皆さんには絶大なるご支援とご指導をいただけますようよろしくお願いいたします。

新任保護司として



古川 源三

私は地元で自営業を営んでおり、縁あって少年指導委員としての活動をしております。その活動を通じ、先輩保護司の推薦もあり今回の拝命に至りました。今後の保護司活動の中で対象者と触れ合う時が来ますが、私の発した言葉がその人の一生にかかわることになるやもしれないので、面接がいつ来てもよいようにまずは私が人間的に成長する様努力致します。「未来とは修正できる過去」と信じて、皆様のご指導頂きつつ活動して参ります。

保護司活動から得たもの

今井 敦子

保護司となって8年。対象者やそのご家族・保護司諸先輩をはじめ更生保護関係の方々との様々な出会いの中で改めて自分自身を見つめ直す機会をいただきました。罪を犯した人に限らず、人は皆、脆さをもっているもの。相手を尊重し、その立場に立ったささやかな言葉がけや支援の手が、生きることを支える大きな力になることを実感しています。

微力ではありますが、支えあう社会実現のため保護司活動を続けていきたいと思っております。

西脇 倫明

保護司の仲間に入れていただき4年目になります。短い期間ですが、先輩保護司や対象者から得たことが、自分の宝物になっています。

先輩保護司の皆さんは、対象者の気持ちを最優先に考えた対応をされています。相手を思いやる心が、対象者の立ち直りや社会復帰の手助けとなっていると感じています。

また、対象者が本音で話してくれた時は、心が温かくなります。これからも、心と心で向かい合えるように、自分磨きをしていきます。

編集後記 コロナが、5類感染症に移行し、感染に配慮しつつではありますが、対面での活動が増えたことに、ほっとさせられた5か月でした。

今後とも更生保護の活動にご協力よろしくをお願いいたします。

広報部員

今井 敦子 坂田 斉
石曾根弘子 西脇 倫明